

内海得治郎

うつみ・とくじろう

広島県議会議員、光和物産株式会社社長

経歴

生: 大正5年(1916年)12月21日、今津町に生まれる

没: 平成14年(2002年)9月2日、享年87歳

昭和9年(1934年)3月	17歳	広島県立福山誠之館中学校卒業
昭和15年(1940年)3月	23歳	東京商科大学(現一橋大学)卒業
昭和15年(1940年)3月	23歳	三菱鉱業株式会社(現三菱マテリアル株式会社)東京本社に入社
昭和16年(1941年)1月	24歳	大東亜戦争が始まり、関東軍自動車第三連隊に入隊
昭和20年(1945年)8月	28歳	陸軍大尉で終戦
昭和21年(1946年)8月	29歳	家業の木履製造販売業、内海商店の代表
昭和22年(1947年)4月～26年(1951年)4月	30～34歳	沼隈郡松永町議会議員
昭和23年(1948年)5月	31歳	松永化学工業株式会社(現マナック株式会社)取締役
昭和23年(1948年)8月～41年(1966年)1月	31～49歳	松永町農業協同組合組合長
昭和24年(1949年)6月～26年(1951年)4月	32～34歳	沼隈郡松永町議会副議長
昭和25年(1950年)12月～平成8年(1996年)12月	33～79歳	内海商店を広島木履工業株式会社(現広木工業株式会社)に改組、取締役
昭和26年(1951年)～38年(1963年)4月	34～46歳	広島県議会議員
昭和26年(1951年)	34歳	光和物産株式会社設立、代表取締役社長
昭和29年(1954年)3月～34年(1959年)6月	37～42歳	広島県木履協同組合(現広島県木製はきもの(協))理事長
昭和30年(1955年)12月	38歳	広島県中小企業団体中央会設立、副会長
昭和31年(1956年)8月～34年(1959年)5月	39～42歳	松永塩業組合組合長
昭和32年(1957年)2月～52年(1977年)5月	40～60歳	広島県い業協会設立、会長
昭和35年(1960年)11月～平成7年(1995年)12月	43～78歳	備南観光開発株式会社(松永カントリークラブ)設立、代表取締役社長
昭和36年(1961年)11月	44歳	全国都道府県議長会会長表彰
昭和40年(1965年)10月	48歳	松永ロータリークラブ設立、副会長
昭和41年(1966年)2月～54年(1979年)5月	49～62歳	松永市農業協同組合新発足、理事
昭和41年(1966年)5月～42年(1967年)6月	49～50歳	松永ロータリークラブ会長

昭和42年(1967年)11月～52年(1977年)5月	50～60歳	全国い業団体中央会設立、副会長
昭和43年(1967年)3月～55年(1980年)3月	51～63歳	福山商工会議所副会頭
昭和43年(1968年)4月～平成13年(2001年)6月	51～84歳	株式会社福山グランドホテル設立、取締役
昭和44年(1969年)4月～56年(1981年)5月	52～64歳	(社)福山法人会副会長
昭和44年(1969年)6月～平成11年(1999年)6月	52～82歳	松永木材協同組合設立、理事長
昭和44年(1969年)10月	52歳	光和化成株式会社設立、代表取締役社長
昭和45年(1970年)12月～平成8年(1996年)6月	53～79歳	広島ホームテレビ設立、取締役
昭和47年(1972年)6月～51年(1976年)6月	55～59歳	広島経済同友会福山支部支部長
昭和49年(1974年)10月	57歳	全国農業協同組合中央会会長表彰
昭和50年(1975年)1月	58歳	(学)福山大学設立、理事
昭和50年(1975年)4月	58歳	藍綬褒章受章
昭和52年(1977年)9月	60歳	全国中小企業団体中央会表彰
昭和52年(1977年)12月	60歳	農林大臣感謝状
昭和54年(1979年)11月	62歳	広島国税局局長表彰
昭和55年(1980年)3月	63歳	福山商工会議所参与
昭和58年(1983年)11月	66歳	通商産業大臣表彰
昭和59年(1984年)5月～平成2年(1990年)5月	67～73歳	広島県中小企業団体中央会会長
昭和62年(1987年)10月	70歳	防衛庁長官感謝状
平成元年(1989年)4月～14年(2002年)5月	72～85歳	(学)福山大学副理事長
平成元年(1989年)5月～2年(1990年)5月	72～73歳	全国中小企業団体中央会副会長
平成2年(1990年)4月	73歳	勲四等旭日小綬章受章
平成3年(1991年)1月～12年(2000年)6月	74～83歳	マナック株式会社代表取締役会長
平成3年(1991年)1月	74歳	光和化成株式会社取締役会長
平成5年(1993年)7月～14年(2002年)6月	75～85歳	(財)松永育英奨学会理事長
平成7年(1995年)1月	77歳	光和物産株式会社取締役会長
平成14年(2002年)9月	85歳	正六位に叙される
—	—	松永農業協同組合長
—	—	松永消防団長

生い立ちと学業、業績

広島県沼隈郡今津町(現福山市今津町)にて内海源助の長男として生まれた。昭和9年(1934年)福山誠之館中学卒業後、東京商科大学(現一橋大学)に進学し、昭和15年(1940年)、三菱鉱業株式会社(現三菱マテリアル株式会社)に入社したが、間もなく応召

され、昭和21年(1946年)、復員帰国した。

戦後は、家業である内海商店(木履業、製塩業;現広木工業株式会社)を継承していたが、昭和22年(1947年)、沼隈郡松永町議会議員に当選し、引き続き昭和26年(1951年)には、広島県議会議員に選出され、その後3期12年を務める。

その間、昭和26年(1951年)、家業を弟内海唯利に譲り、自身は建材販売商社として光和物産株式会社を設立した。

生涯を通して、思い入れが特に強かったのは、松永カントリークラブの設立である。

まだ、ゴルフというのが珍しかった頃の話である。

松永地区大谷山にマイクロウェーブの中継基地を建設すべく郵政省の役人を案内したところ、「ここにゴルフ場を造れば」という言葉が耳に止まり、この一言が、全ての始まりとなった。スポンサー探しに奔走し、自ら出資者を募り、昭和35年(1960年)、ゴルフ場運営会社、備南観光開発株式会社を設立したものの、この間の苦労は終生の語り草であった。

多くの辛酸をなめながらも、翌昭和36年(1961年)、松永カントリークラブ開場に漕ぎ着け、今日に至っている訳だが、当時、ゴルフ場造成という博打的な行為は、県議会議員選挙の落選にも結び付く程の暴挙であった。ゴルフが国体の正式種目になる日が来ようとは、あのとき誰が想像しただろうか。

松永で製塩業が盛んであったことは、日々記憶が薄れいくところであるが、松永塩業組合の子会社として昭和23年(1958年)、松永化学工業株式会社(現マナック株式会社)を設立した。

昭和35年(1960年)、塩田整備法により塩田が姿を消してからも、マナック株式会社は、多くの人々に支えられ、育てられ、東証二部上場を果たすに至った。

この間代表取締役会長を10年余り務めた。

また、広島県中小企業団体中央会には設立から参画、後に会長として中小企業の振興、発展のために終生を捧げた。

その功績により、平成2年(1990年)には勲四等旭日小綬章を、平成14年(2002年)、逝去後、正六位に叙された。(鍋島喜八郎、昭和28年卒)

出典1:『内海得治郎を偲ぶ会パンフレット』、平成14年10月8日

関連情報1:『政治産業文化備後総合名鑑』、112頁、式見静夫編、備後文化出版社刊、昭和34年9月

2005年2月2日更新●2005年6月1日更新:経歴・本文●2006年6月16日更新:タイトル・経歴●2008年2月6日更新:経歴・本文●2009年8月14日更新:関連情報●